



かながわCO₂見える化トライアルWebセミナー(第1回)

脱炭素化への第一歩

～CO₂排出量見える化の必要性～

2025年6月17日

神奈川県 環境農政局 脱炭素戦略本部室

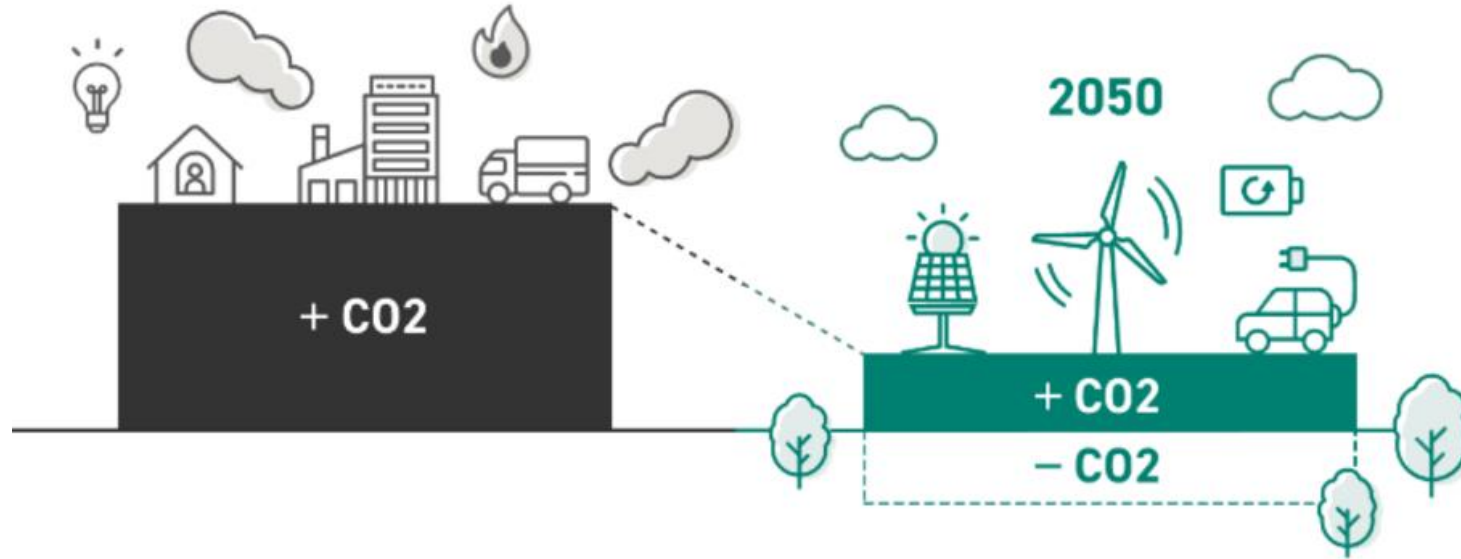


私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。
SDGs 未来都市 神奈川県



脱炭素とは？

二酸化炭素（CO₂）はじめとする温室効果ガスの
「排出量」と「吸収量」を均衡させること = 温室効果ガス排出**実質ゼロ**



<本セミナーの目的>

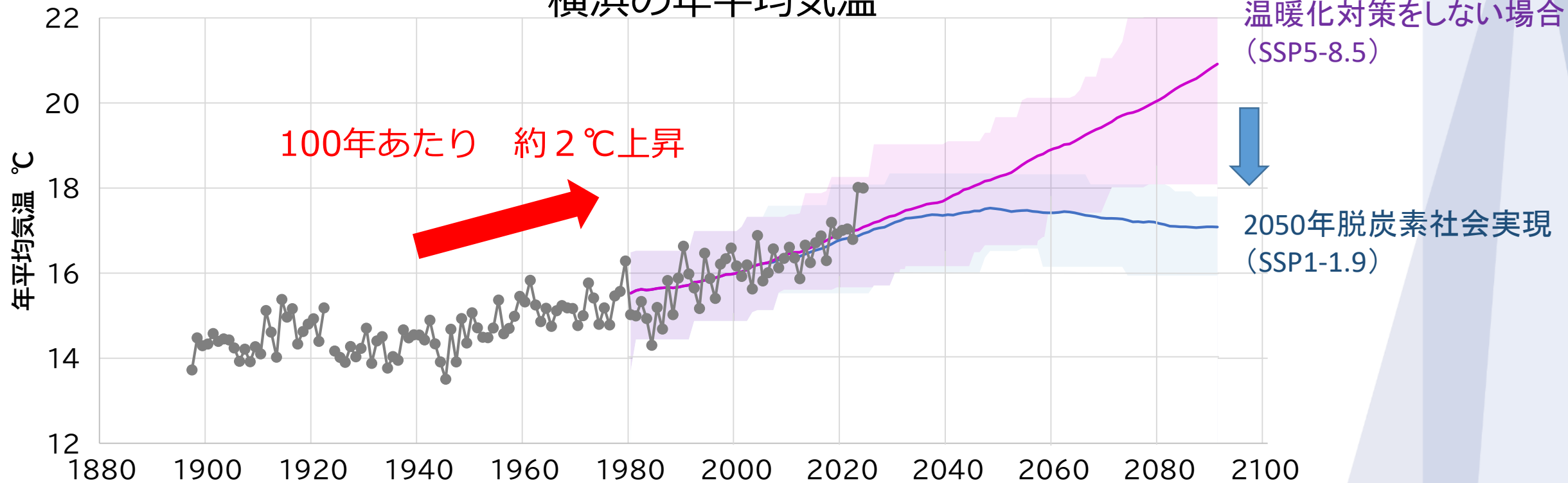
脱炭素の必要性を知っていただき、脱炭素化に向けた第一歩である
「CO₂排出量を見える化」に踏み出すきっかけとしていただきたい

地球温暖化の現状 と CO₂削減目標

神奈川県平均気温の推移

- ▶ 長期的に上昇傾向（100年あたり2.0℃上昇）
- ▶ 2024年7～10月の各月平均気温は、県内全観測地点※で歴代1位を更新
※海老名、横浜、辻堂、小田原、三浦

横浜の年平均気温



Kanagawa Prefectural Government

出典: 気象庁過去の気象データ及び日本域バイアス補正気候シナリオデータ(NIES2020)から作成

温暖化の影響

地球温暖化に伴う気候の変化



極端な気温



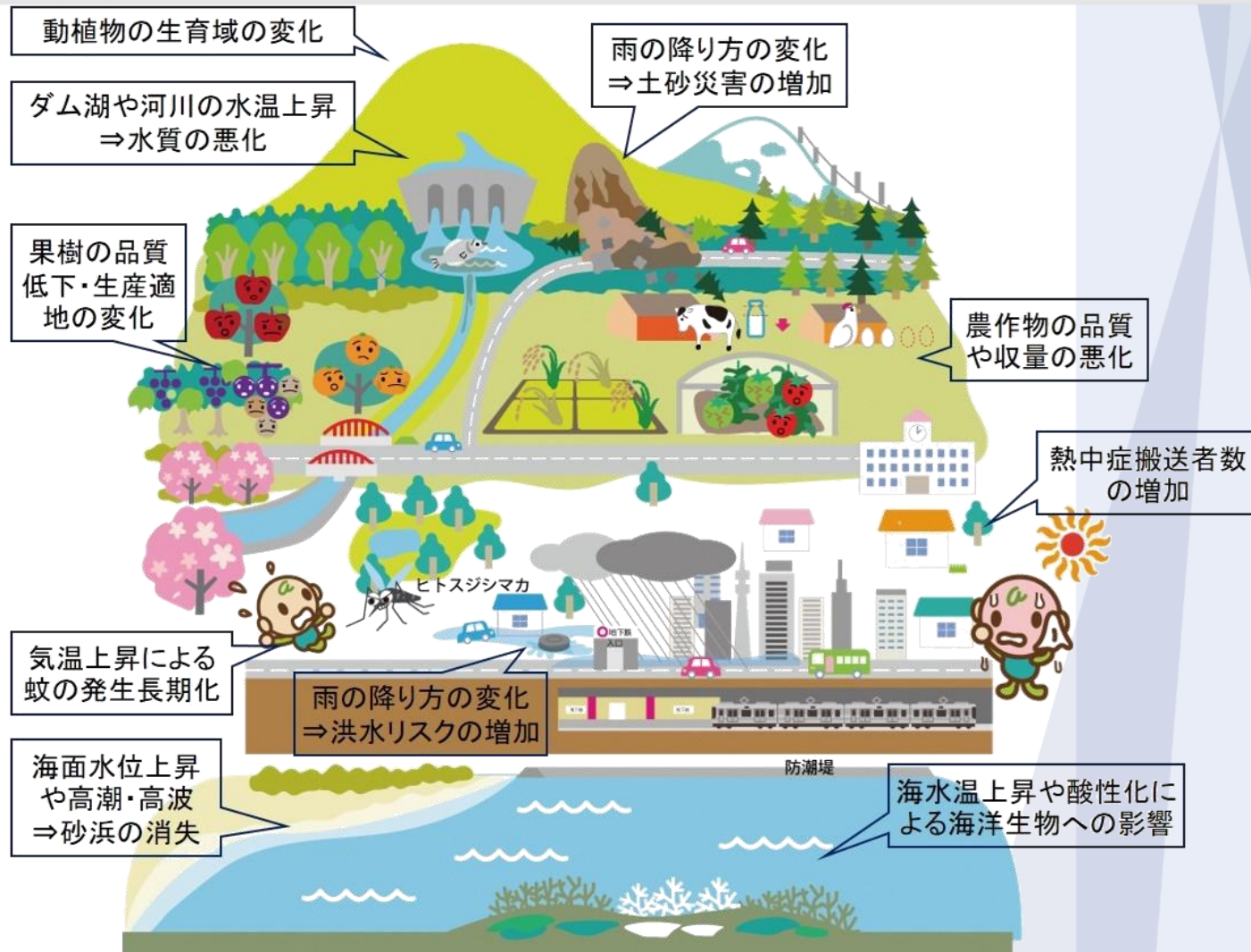
降水・極端な降水



乾燥傾向



破壊的な台風、
発達した低気圧



➡ 地球温暖化の影響は、産業や私たちの生活など、あらゆるところに拡大！

世界と日本の対応

▶パリ協定（2015年）

気温上昇を**2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする。**

そのために、**今世紀後半に人間活動による温室効果ガス排出量の正味ゼロ**をめざす。



Kanagawa Prefectural Government

▶日本政府の脱炭素宣言（2020年）

2050年までに温室効果ガス排出量をゼロにする、すなわち**2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す**ことを表明。



神奈川県への対応

- ➡ 「2050年脱炭素社会」の実現を表明（2019年）
- ➡ 「かながわ気候非常事態宣言」（2020年）

神奈川県 Kanagawa prefecture <http://www.pref.kanagawa.jp/>

Our own action creates the future that makes a difference.
SDGs Future City: Kanagawa Pref. Government

FOR ZERO CARBON SOCIETY BY 2050


Yuji Kuroiwa
Governor of Kanagawa Prefecture

By 2050, Kanagawa prefecture aims for net zero carbon emissions as leading SDGs prefecture !

Kanagawa Prefectural Government

Nov. 28, 2019 Kanagawa Prefecture

神奈川県 Kanagawa Prefecture

Himawari-8 AH! 2019/10/11 07:40JST

かながわ気候非常事態宣言

1. 今のいのちを守るため、風水害対策等の強化
2. 未来のいのちを守るため、2050年の「脱炭素社会」の実現に向けた取り組みの推進
3. 気候変動問題の共有に向けた、情報提供・普及啓発の充実

Kanagawa Prefecture

本県の目標

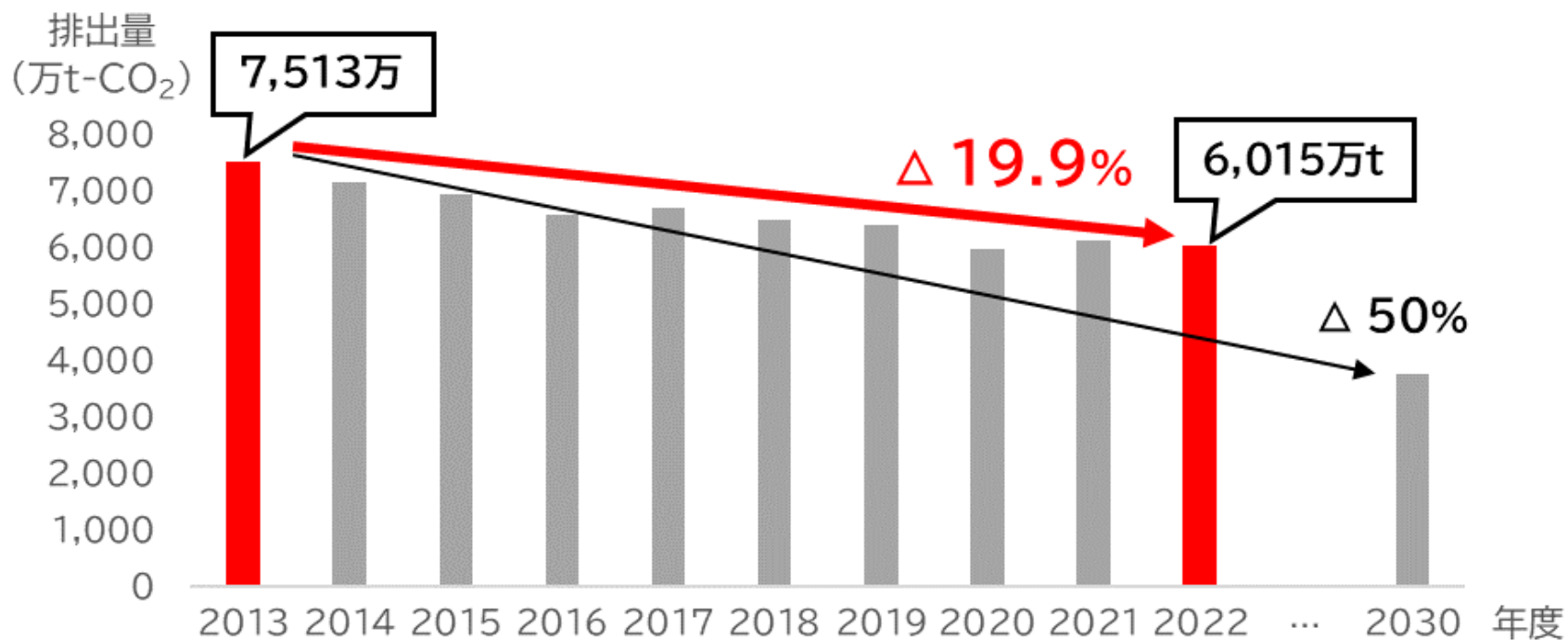
➡ 2023年 2 月
「2030年度までに、温室効果ガス50%削減」を表明

	中期目標 (2030年度、2013年度比)	長期目標 (2050年)
県の目標	△50%	脱炭素社会の実現
(参考) 国の目標	△46% さらに、50%の高みに向け挑戦	脱炭素社会の実現

神奈川県地球温暖化対策計画の全面改定に反映

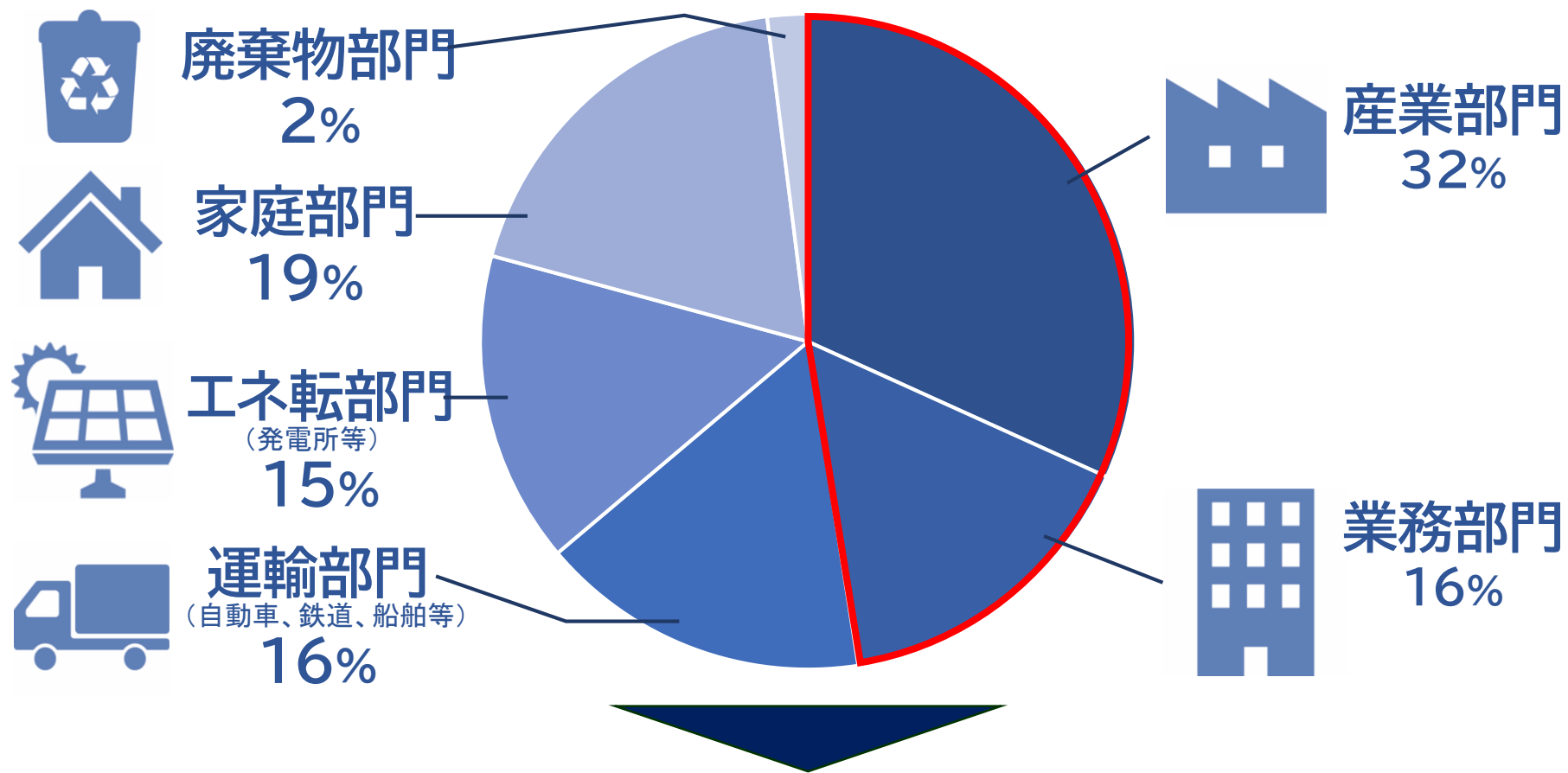
温室効果ガスの削減状況 @神奈川県

県内の温室効果ガスは、2013年度比で2022年度は19.9%減少



**「2030年度に50%削減」という目標を達成に向けて
オールジャパン・オール神奈川で取組を強化 する必要あり**

県内の状況／CO₂の部門別排出状況



約 **5 割** を占める 事業活動 からの削減が重要

事業活動を取り巻く状況（脱炭素経営の必要性）

事業活動を取り巻く状況

事業活動における脱炭素をめぐる 動向 と潜在的な リスク

▶グローバル企業（大企業）

サプライチェーン全体から排出される
CO₂排出量の削減に取り組むなど、
“脱炭素”が重要な要素に。

[取引機会の損失リスク]

▶ESG投資がトレンド



E 環境 (Environment)

S 社会 (Social)

G ガバナンス (Governance)

[金融機関等の低評価リスク]

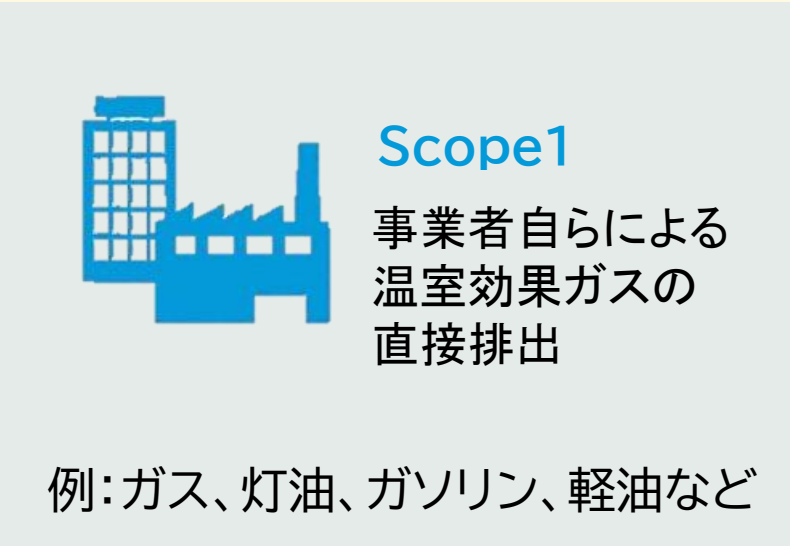
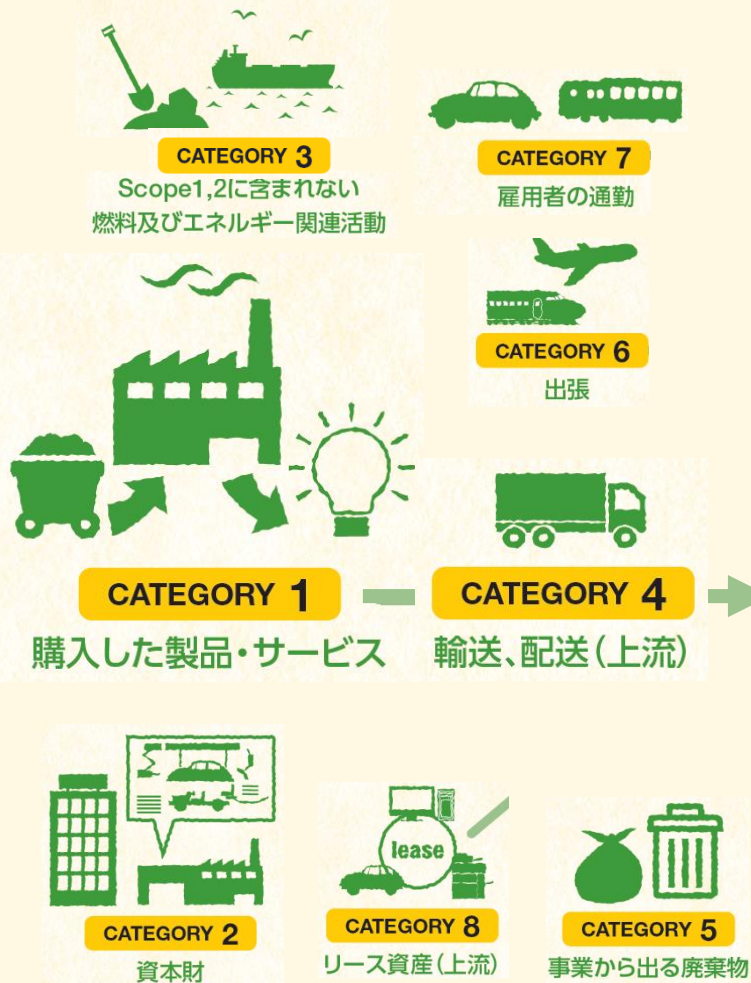
サプライチェーンの一翼を担う **中小企業** にとっても

リスク 回避のためには **脱炭素の取組** が必要

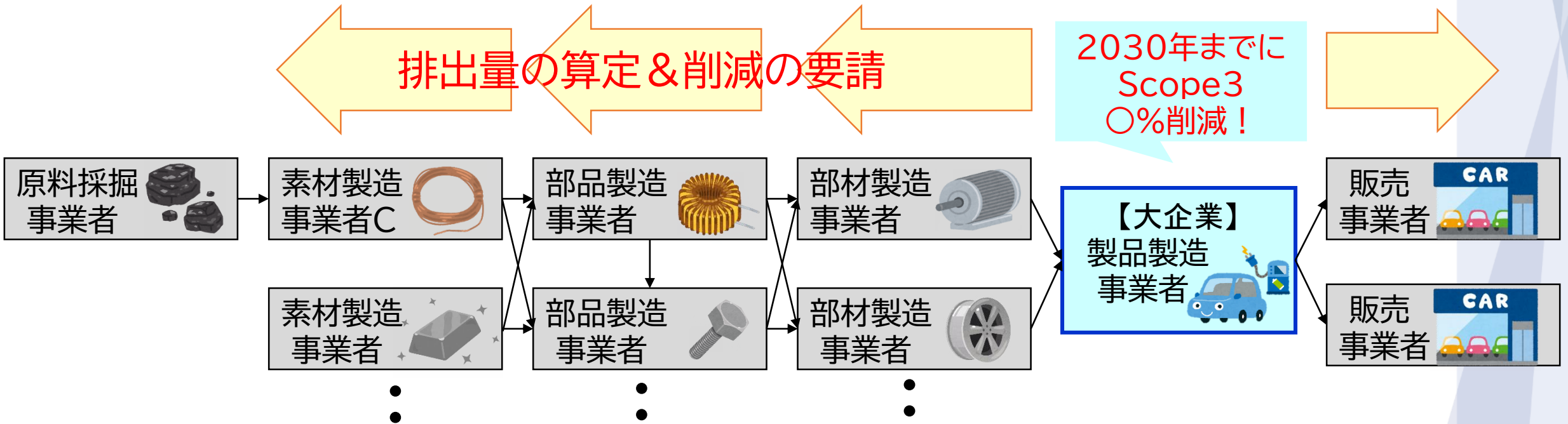
サプライチェーン排出量

Scope3

事業者の活動に関連する他者の排出
(Scope2 以外の間接排出)



サプライチェーン排出量の算定&削減の要請



➡ 今後、取引先から提供された排出量に基づく「サプライチェーン排出量」の算定や削減の取組が、大企業から広がっていく見込み

脱炭素経営のメリット

脱炭素経営に取り組むメリット①

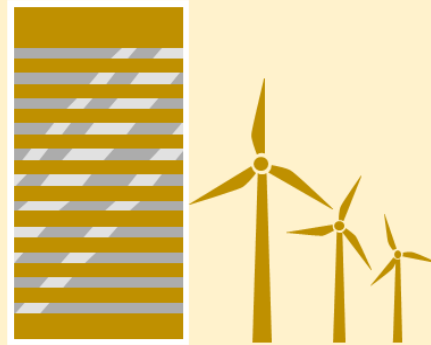


優位性の構築

他社より早く取り組むことで「脱炭素経営が進んでいる企業」や「先進的な企業」という良いイメージを獲得

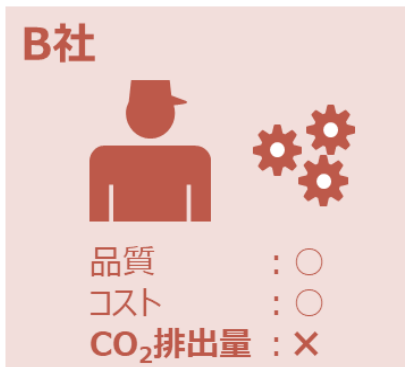


脱炭素に積極的な
取引先企業

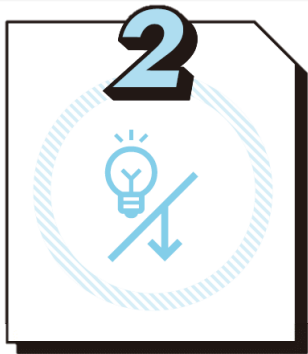


取引先に対して、
原材料・部品調達や製品の使用
段階も含めた排出量の削減を要請

削減努力を評価



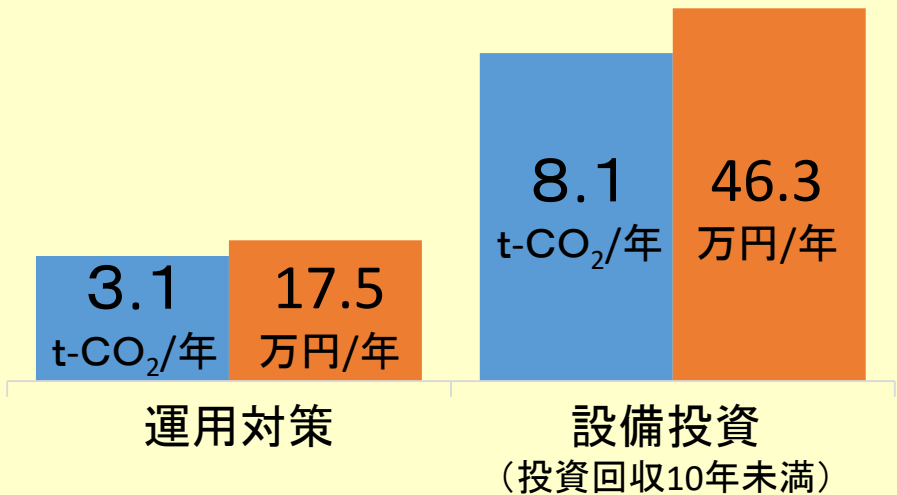
脱炭素経営に取り組むメリット②



光熱費・燃料費の低減

年々高騰する原料費の対策にも有効
企業の業種によっては光熱費が半分近く削減できることも

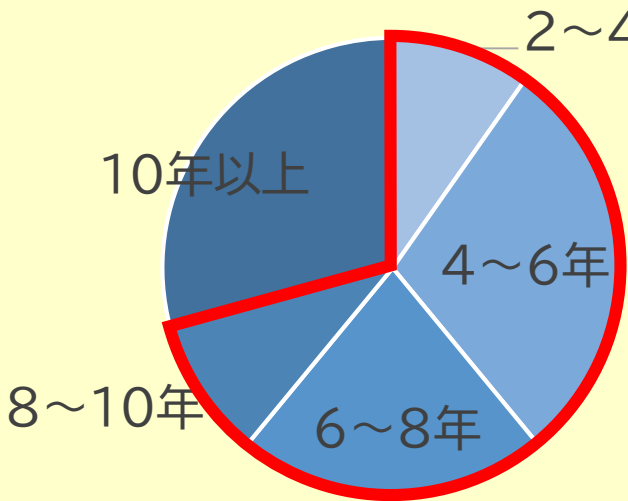
省エネ対策による平均削減余地



※省エネ診断事業(2024年度)の提案結果を集計し、
1事業所あたりに平均

Kanagawa Prefectural Government

太陽光発電設備の
投資回収年数割合(概算)



※太陽光発電設備提案事業(2024年度)の提案結果
のうち、導入パネル容量10kW以上を集計

脱炭素経営に取り組むメリット③



知名度・認知度の向上

環境に対する先進的な取組がメディアに取り上げられることも。お問い合わせが増えることで売上の増加も期待。



社員のモチベーション・人材獲得力向上

自社の社会貢献は社員のモチベーションアップに。
サステナブルな企業へ従事したい社員数は年々増加中。

Kanagawa Prefectural Government



好条件での資金調達

企業の長期的な期待値を測る指標として、脱炭素への取組が重要指標化。

例) かながわ脱炭素ポータルでの取組PR



脱炭素経営の3ステップとCO₂排出量“見える化”

脱炭素経営に向けた3ステップ

①知る



情報の収集

2050年脱炭素に向けた潮流を自分事で捉える



方針の検討

現状の経営方針や理念を踏まえ、脱炭素経営の目指す方向性を検討する

②測る



CO₂排出量の算定

自社の排出量を算定し、脱炭素に向けた取組の理解を深める



削減ターゲットの特定

自社の主要排出源となる事業活動やその設備等を把握し、どこから削減すべきかあたりをつける

③減らす



削減計画の策定

自社の排出源の特徴を踏まえ、削減対策を検討し、実施計画を作成しましょう



削減対策の実行

社外の支援も受け、削減対策を実行する。また、定期的な見直しにより取組のレベルアップを図る

CO₂排出量の算定

$$\text{活動量} \times \text{係数} = \text{CO}_2\text{排出量}$$

使用量、燃焼量などの
排出活動の規模を表す指標

活動量当たりのCO₂排出量
例) 電気1kwhあたり ○ kg-CO₂

業務日報や請求書に記載
された電気やガスなどの
使用量から情報を収集



排出量算定の中小企業における課題



エネルギー使用量の集計や管理に係る
マンパワーが不足



排出量の算定に係る
知識・ノウハウが不足

CO₂排出量管理システム

電力使用量

電力使用量のお知らせ		株式会社〇〇〇商事 様	電気料金等領収証	
ご使用場所	横浜市中区日本大通××		12月分	金額
2025年4月分 (ご使用期間3/31~4/29)	ご契約種別	●●プラン	25-4	56,789円
ご使用量	1,234kWh	ご契約	70A	56,789円
請求金額	56,789円	当月指示数	5432	お支払人氏名
1段料金	2,345円	前月指示数	4198	株式会社〇〇〇商事様
2段料金	3,456円	差	1234	お支払期限日
3段料金	45,567円	今月分お支払期限	6月10日	6月10日
燃料費調整	1,115円	次回検針予定日	5月31日	
再エネ発電調整金	4,306円			お問合せ先
〇×△電力株式会社		地区番号	01	12345-6789-10-01
お問合せ先 XXX-XXX-XXX		お問合せ先	XXX-XXX-XXX	



ガス使用量

〒231-0021
横浜市中区日本大通××

株式会社〇〇〇商事 様

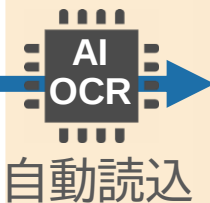
2025年4月16日 発行

ご請求金額合計 54,321円
内消費税等相当額 4,938円
上記金額をご請求申し上げます。

■●▼ガス株式会社

請求書 (2025年4月分)

お客様番号	ご使用者住所	契約種別 期間	使用量	ご請求金額
234-567-890	横浜市中区 日本大通××	★★プラン 3/3~4/4	654㎡	8,643円
株式会社 〇〇〇商事 本社 様				
345-678-901	厚木市上依知××	▼▼プラン 3/1~4/2	3,456㎡	45,678円
株式会社 〇〇〇商事 厚木工場 様				



燃料使用量

平231-0021
横浜市中区日本大通××

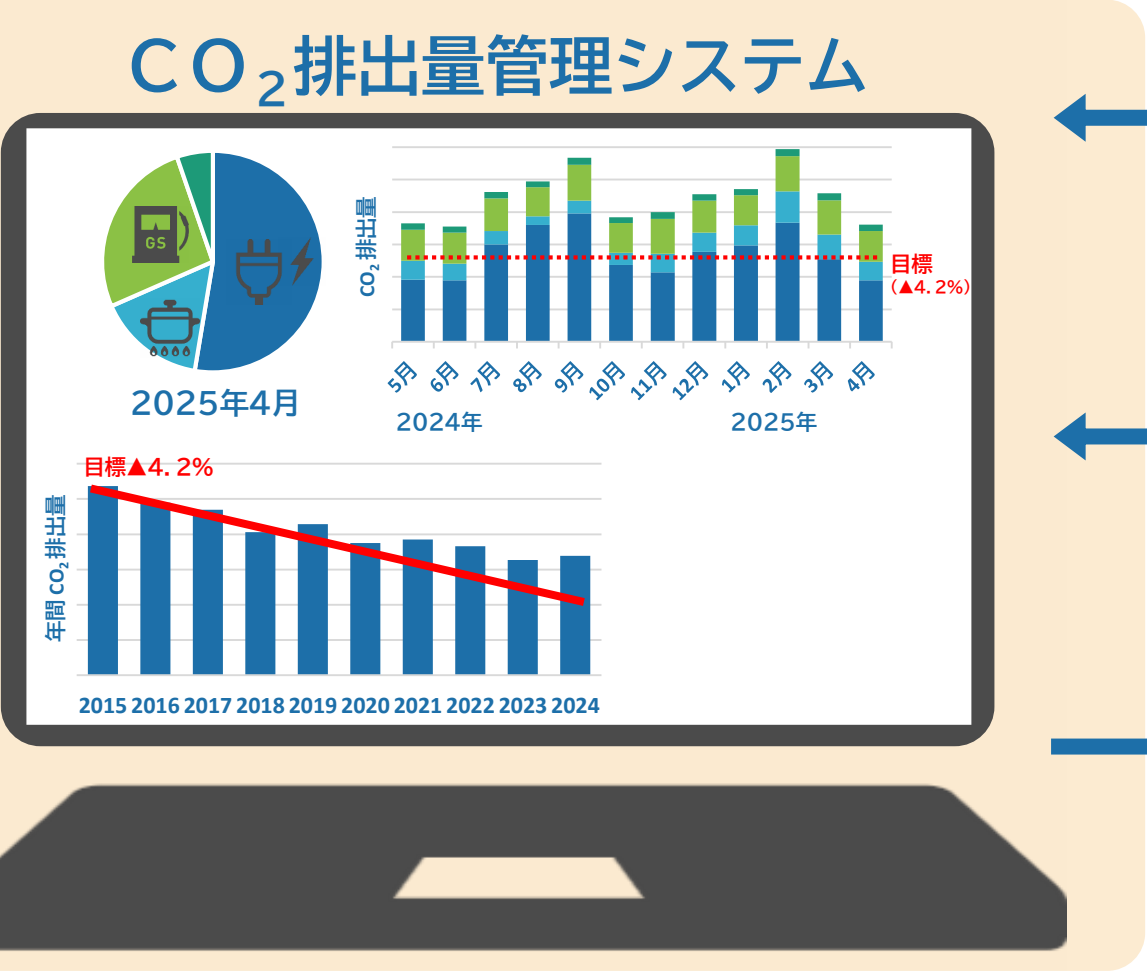
株式会社〇〇〇商事 様

お支払合計135,792円

株式会社 〇△〇石油
法人カードご利用代金明細書

2025年4月20日 発行
会員番号 1357-9111-31517
お問合せ先 ×××-×××-×××

給油日	商品名	数量(L)	単価(円)	金額(円)	給油SS名
20250316	レギュラー	40.0	165.0	7,260	みなとみらいSS
20250325	軽油	110.0	143.0	17,303	県庁前SS
20250404	レギュラー	35.0	160.0	6,160	磯子SS
20250408	灯油	18.0	125.0	2,475	みなとみらいSS



取引先・関係
会社との共有

他事業所の
データ集約

国・県
への報告書

▶▶ CO₂排出量に自動変換 & 見える化が容易にでき、目標管理や削減支援も提供

かながわCO₂見える化トライアル2025

自社が排出しているCO₂の「見える化」を支援し、脱炭素経営の後押しをします！

対象者

中小企業等 計210者(各システム70者)
※CO₂排出量管理システムを利用したことが無いこと

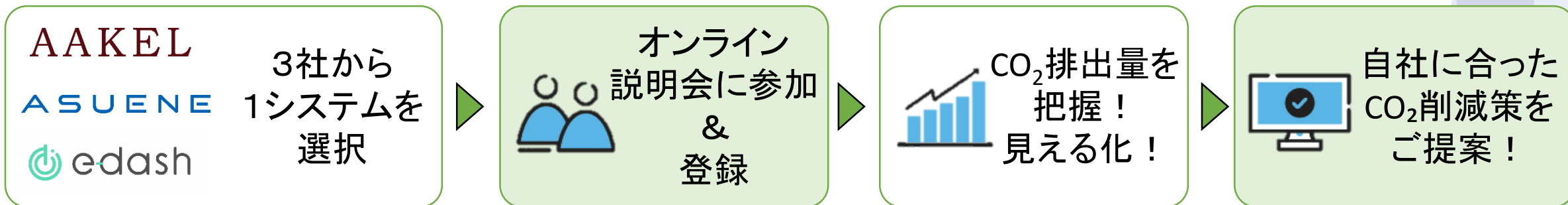
CO₂排出量システムを
サービス利用料 **無料** で提供！

(2026年2月末まで)

事業内容

- ・CO₂排出量管理システムの導入支援
- ・脱炭素に関する目標設定や取組のアドバイス

支援の流れ



▶ セミナー後半では、3社のシステムや支援の特徴を紹介

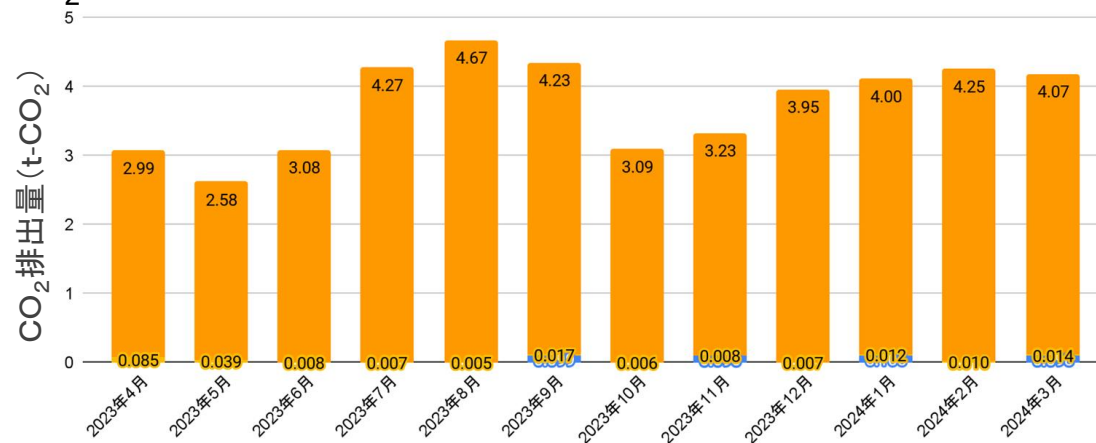
2024年度 支援事例①

株式会社 三興ネーム(製造業)



【主な製品】導電膜フィルムヒータ、静電容量タッチスイッチ 等

CO₂排出量の推移 (■ 電気 ■ プロパン ■ ガソリン)



- システムを使ったCO₂排出量見える化の結果
 - ・ CO₂排出量の特徴や詳細の把握が出来た
 - ・ 情報共有や管理がしやすい

- 排出量削減提案を受けた結果
 - ・ 照明のLED化について、対応状況を見直すきっかけとなった
 - ・ 太陽光発電単独では投資回収が難しいので、蓄電池の併用も検討する

- 経営者も従業員も「自分ごと」として温暖化問題を捉えて、取り組んでいく
- 省エネ診断の受診、非化石証書の購入等を実施予定

2024年度 支援事例②

株式会社 三友ファスニング(建設業)



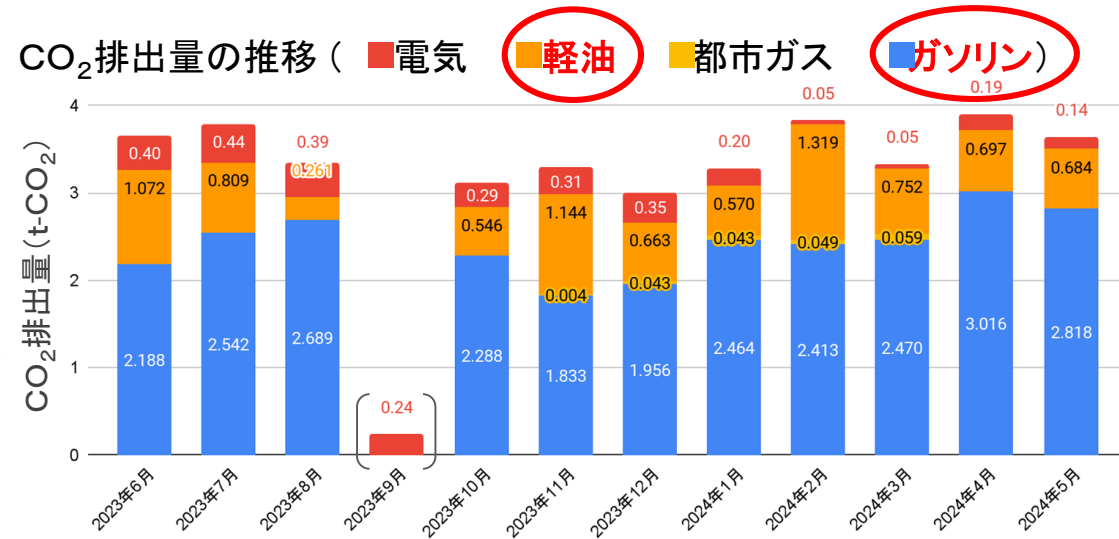
- 大手ゼネコンのCO₂排出量の可視化に伴い、下請け業者にも、数値化の流れが将来的に来る

- システムを使ったCO₂排出量見える化の結果
 - ・ **工事車両のガソリン、軽油由来の排出量が多いことが分かった**

- 工事用車両のEV・HV車への導入転換を検討
- SBT※認証を取得することで、企業評価を上げ、選ばれる企業へ

※企業がパリ協定の目標に沿って設定した温室効果ガス削減目標

【主な事業】耐震補強工事、アンカー工事、建設物のリニューアル工事請負等



県の支援事業

中小企業脱炭素支援パッケージ

STEP.1 知る

- 情報の収集
- 方針の検討

① カーボンニュートラル ワンストップ相談窓口

脱炭素のあらゆるご相談に
無料でお答えします！



STEP.2 測る

- CO₂排出量の算定
- 削減ターゲットの特定

② かながわ CO₂見える化 トライアル

CO₂排出量管理システムを
無料で利用いただき、
自社の排出量の把握と
削減を後押しします！

③ 省エネルギー診断

省エネの専門家が
事業所を訪問し、
「運用対策」や
「設備更新対策」を
無料でご提案します！

計 画 策 定

④ かながわ脱炭素チャレンジ中小企業認証制度

「2050年までの脱炭素化」を宣言し、脱炭素化に向けて
削減計画を提出した意欲ある中小企業を県が
「かながわ脱炭素チャレンジャー」として認証します！

省エネ対策

⑤ 中小企業省エネルギー 設備導入費等補助金

省エネ設備の導入や保守に係る経費の一部を
補助します！

補助額 補助率1/3

再エネ切替

⑩ 首都圏再エネ共同購入プロジェクト

スケールメリットが得られる共同オークションの活用により、
電気料金を削減しつつ、再エネ電力化できます！

⑪ かながわ再エネ電力利用応援プロジェクト

小売電気事業者が提供する再エネ電力プランを広く
周知するとともに、再エネ電力への切替えを
行った県内事業者を認定し、公表します！

STEP.3 減らす

- 削減計画の策定
- 削減対策の実行

太陽光発電導入



⑥ 太陽光発電設備の導入提案

専門家が事業所を訪問し、太陽光発電設備の導入提案書
(設置場所、導入費用等)を無料で作成することで、
設備導入を後押しします！

⑦ 事業所用太陽光発電の共同購入

太陽光発電の導入希望者を広く募ることで、スケール
メリットにより、通常よりも安い費用で導入できます！

⑧ 自家消費型再生可能エネルギー導入費補助金

太陽光発電設備等の導入に係る経費の一部を
補助します！

補助額 太陽光：8万円/kW 蓄電システム：5万円/kWh

⑨ ソーラーカーポート設置促進事業費補助金

障害者等用駐車区画へのソーラーカーポートの設置
に係る経費の一部を補助します！

補助額 補助率1/3

融 資

⑫ エコアセットかながわ

金融機関から融資を受ける際の動産等や
知的財産権の資産評価費用の一部を補助します！

EV等導入



⑫ EV急速充電設備整備費補助金

公共用等のEV急速充電設備の整備に係る経費の一部
を補助します！

補助額 新規・入替：補助率1/3

⑬ EV普通充電設備整備費補助金

事業所の従業員用駐車場、宿泊施設、観光施設等への
EV普通充電設備の整備に係る経費の一部を
補助します！

補助額 普通充電設備・コンセントスタンド：定額15万円
コンセント：補助率1/3

⑭ 乗用FCV導入費補助金

FCV(燃料電池自動車)の導入等に係る経費の一部を
補助します！

補助額 定額100万円

⑮ 事業用等EV導入費補助金

事業用等EVの導入に係る経費の一部を補助します！

補助額 EVバス：補助率1/3 EVトラック：補助率1/4など

⑯ 神奈川県中小企業制度融資

脱炭素に取り組む中小企業者の皆さまの資金調達を
「脱炭素(カーボンニュートラル)促進融資」で支援しま
す。補助金と併せて利用できますので、ぜひ活用くだ
さい！

CO₂排出量の見える化を活用したPR例

①カーボンニュートラルワンストップ相談窓口



脱炭素のあらゆるご相談に無料でお答えします！

また、計画策定から削減対策の実施まで、ステップに応じた支援を継続実施（伴走支援）

②かながわCO₂見える化トライアル



CO₂排出量管理システムを無料でご利用いただき、
自社の排出量の把握と削減を後押し！

削減計画に必要なデータを
システムから出力！

削減計画の策定を
伴走支援！

④かながわ脱炭素チャレンジ中小企業認証制度



脱炭素化に向けた意欲ある中小企業を県が「かながわ脱炭素チャレンジャー」として認証！

主な認証要件

①「2050年までの脱炭素化」を宣言、②脱炭素化に向けた削減計画を提出

認証のメリット

県補助金の上乗せ、入札参加資格認定時の加点、公式認証マークの提供など



かながわ脱炭素
チャレンジャー
公式認証マーク

太陽光発電設備導入に関する支援・補助の活用例

\ まずは、どれくらい設置できるのか調べたい! /

⑥太陽光発電設備の導入提案



「建物屋上や敷地内に太陽光をどれくらい設置できるのか知りたい」
「投資回収年数次第では、設置を検討したい」という方は、お申込みください。

\ 設置事業者の検討や比較をしたい! /

⑦事業所用太陽光発電の共同購入



「設置事業者を検討したい」
「複数社の見積を比較したい」という方は、お申し込みください。

\ 太陽光発電設備導入が決まった! /

⑧自家消費型再生可能エネルギー導入費補助金



令和7年度は、補助を大幅に拡充しました

太陽光 6万円/kW → 8万円/kW

補助上限(大企業に限る) 1,000万円 → 3,000万円

蓄電池 15万円/台 → 5万円/kWh ※上限500万円

※障害者等専用駐車区画へのソーラーカーポート設置は、⑨ソーラーカーポート設置促進事業費補助金をご確認ください。

④かながわ脱炭素チャレンジャーの場合
はさらに

2万円上乗せして、
10万円/kWとなります！



かながわ脱炭素
チャレンジャー

各支援や補助の詳細は、[かながわ 脱炭素ポータル](#) **検索**

【ご案内】第2回かながわ脱炭素大賞について

▶第2回かながわ脱炭素大賞の候補者を募集しています！

脱炭素に関する優れた取組みを行った個人や事業者、学校等の功績を称える表彰制度「かながわ脱炭素大賞」を実施します。3部門で募集しておりますので、是非ご応募ください。

受賞された方は、大賞のロゴをホームページや名刺などにご活用いただけます→



募集部門

脱炭素を広める活動！



① 普及・促進部門

脱炭素に向けた他の模範となる実践的な普及・促進の活動を行った個人や団体

脱炭素を進める技術！



② 先進技術・導入部門

脱炭素に関する先進的な技術開発・製品化やサービスの提供、先進的な再エネ導入等の取組を行った個人や団体

未来を創る若い力！



③ ユース未来部門

30歳未満で、将来性を期待できる①②の取組を行った個人、学校、団体等

上記のほか、①③の部門は「地球温暖化の影響への適応」についての取組も募集対象です。

〈主催〉神奈川県、tvk(テレビ神奈川)

〈後援〉神奈川新聞社、FMヨコハマ、環境省関東地方環境事務所、かながわ脱炭素推進会議



募集案内や昨年の受賞者など、詳細はこちらからご確認ください→





オールジャパン・オール神奈川 で力を合わせて取り組みましょう！

